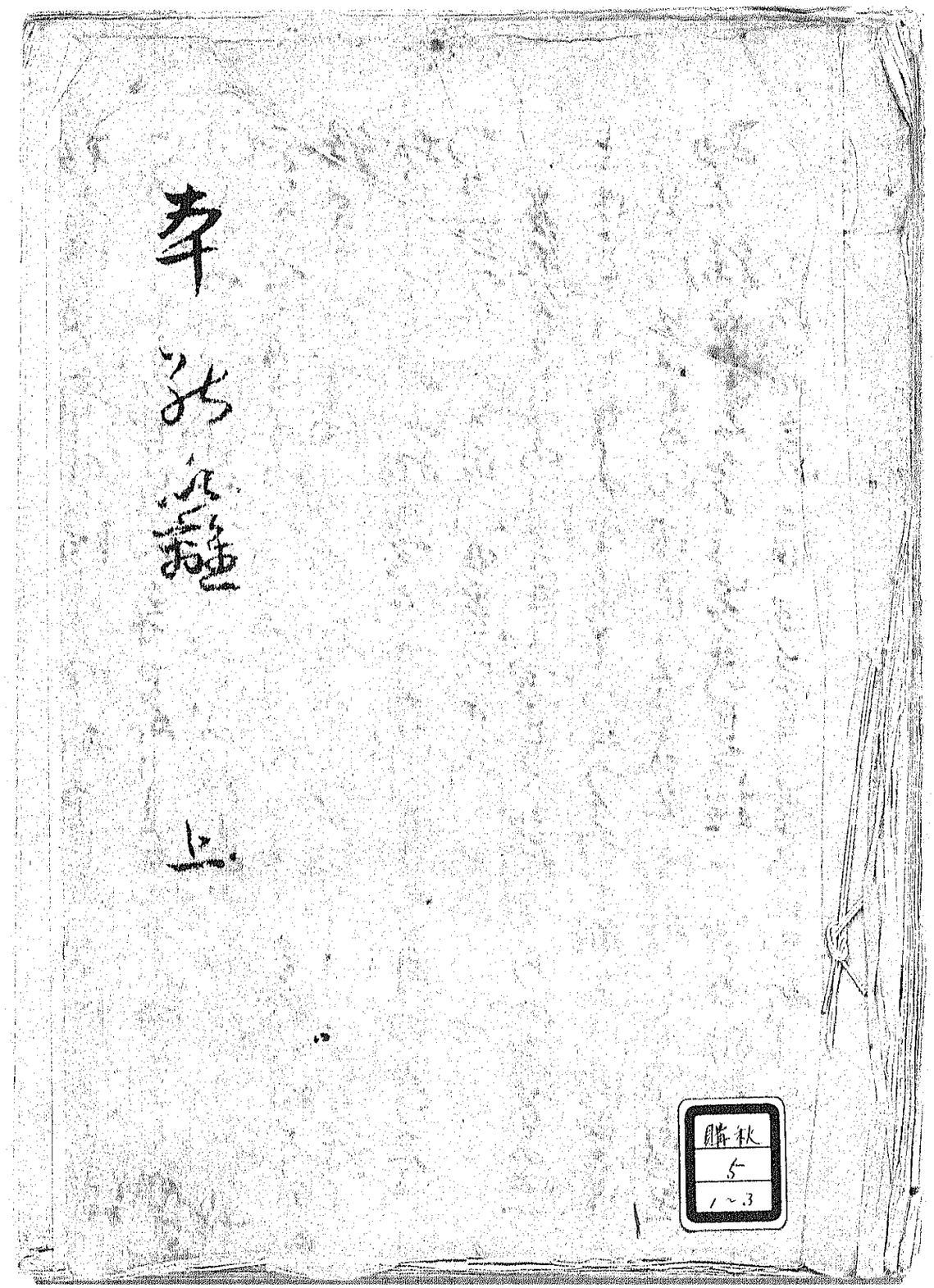

春秋左氏傳
1
膳秋
5
1~3

松平 一	奥平	松平 二	奥輪	駿部 三	長滝輪	久松 四	久継
兒島 十	阿部	中山	菅谷	小出	土田	小森	土
秋山	大津留	岡本権		生駒	南部	朱依	樵業
堀田		宮崎	本	平松	岡本	山	
久松 五	尤関	吉村 六	酒井	吉村 七	林	吉村 八	菅沼
神山	土	三宅	土	南合	夫	青木市	
大崎	父泰系	森	土	森林	青木	青木市	
小栗		河合	渡辺	河村	同治	永井	
鳥海	幸野	福本		九里	辻	秋田	
今泉	宮崎	昭本	同	樋口	助	樋口	
高松	久松 九	藤	斎	大瀧			
山崎与	兼蚕	山崎	士	青木市			
永井							
辻	秋田						
九里	樋口						
樋口	助						

大島	河合							
岩崎	小寺	六五						
新見	妻	村松	六六					
鵜飼	大人	金子	艮藏	六八				
玖珠	郡							
松	藤伴	光	松平	左	六九			
西山	幸	中島	小越	七				
吉村	又							
長島	公	豊田	靖	七一				
鳥飼	宅	野崎		七二				
		堀田						
篠宮	重	城		七三				
青木金吾								
岩瀬		七四						

定網公御舎弟信濃守定員公御次男千石
定建公御代依願 公儀ヘ處文三ヶ年 壮五
五年勤大夫下改名
三千石 公德六申年三月廿八日 卒 六十八才
武千五百石後三千石 定建公御代家督実父
之御舎兄松平備前守殿御次男 松平次郎左門定員と
酒井雅楽頭様御家老

武千五百石

武千五百石明和五年家督

武千五百石 月番御頼

弐千三百石

千八百石

定覚嫡男 同 松平内藏之助 定覚
大学
定覚嫡男 同 弟 忍 定久
定之丞養子 同 弟 忍 定揃
(大庫為御入用金御勘定並被仰付勤仕)
(対馬守殿隠居料被下置剃髪)
同 主馬 吉番数奉
同 対馬 定胤嫡子 岩部主馬沖見定胤
同 石見 同次男
同 監物 石見嫡子
同 博之助 定

千六百石月番御頼

千六百石

千六百石　月番御頼

千六百石　慶應三年二月月番御頼同年
十月病気依願月番御免

五百石　知慶喜公京都御番入明五己年御免

定奉行　松平典膳

松平典膳子ニ而淳之永、巻子改
御目鏡相続ス作州

同　濃厚
統父嫡子
同　六弥厚
松平登波嫡子相続ス改武雄
同　嶺馬厚
鏡若
同　弟力厚

五百石　明五己年家督ニ養者番組外ニ番頭
家柄五百石ニ候番格ニ候ニ養者ニ番頭ニ昇
進ニ候四百石ニ養者

家督二百八十石ニ養者ニ番頭

家督二百五十石ニ候番格ニ候

実定府二居

同　典膳　造酒
同　登波
同　典膳　逗而
同　忠雅

定網公御附番ニ被仰渡候節ニ見習ニ而出府
二千石候ニ而定重郎代ニ儀願ニ仰上候処
旨ニ仰出ニ而死後之覚文ニ而二月ニ卒
二千石候ニ而延寿八郎七月ニ儀願ニ而代替
定重公乗名ニ而太刀献上名代ニ候相勤

服部深亜　氏容
同　源吾　辰
初五人扶助

天和年中定置公卿戈紀濃州内三郡右
須享年中改名濃河以寺傳為奉行相勤享保年中隠居改一計
正徳元卯年両職位有御名代相勤

千五百石 従弐千石 元文年中ノ任加増之

二千石 寛保元家督

寛暦七己年死去

二千石 宝暦七己家督

千九百石 明和五家督 寛政六寅月番
御頼百石御加増

家督弐千石

同 大膳亮 前名郎左門 正武
同 伊賀守 門記 監物 継殿 正卿
同 主税殿
同 志摩殿
同 勇之介 為養子 伴淺殿 輝寿 正保
同 右兵衛殿 初備後定衛

同 右馬殿 正賀

家督千九百石 月番御頼

家督千五百石 早世

家督千二百石

千二百石 月番御頼後御免

同 右兵殿 隠居監物
同 鉾右殿
同 右兵殿 正保未子 門弟ニ仕有
同 右兵殿 再勤隠居監物 伊賀

服部半蔵 元貞守正歌 幸
公儀相勤依遠ニ不参出仕障ニて堀内後守
参ニ而その内病ニ而相頼ニ処御後守久幸去寛永中ニ出
格式一門分ニ外廻事寄ニ上座弐千石ニ下半
父子相組次先手並地方四程百人預慶安五辰五月
廿七日卒

服部半蔵 初伊豆守 正重

千石許不足ト相頭慶安五辰家督悉式而相続
焼失ノ砌四本九ヶ頭并地方豆拾石余申ハ渡置
御合力米許下ニ吉依頼二千石ヽ川五百石余知
次男養子渡新高附番後根津元奉頭ヶ
定重公所代部屋住ヶ十人扶持ヶ渡延宝八又家督千五百石
享寄並前方光手ヶ頭ヶ廻元禄七 芝御前根ヶ與使并
江戸下リヶ近習組ヶ頭元禄十七ヶ確ニ月番翌年大銭四ヶ百石ヶ
元禄五申百石組ヶ頭ヶ渡門番養者共
戦死跡千二百石ヶ享寄ヶ
八百石 定輝公御代始ヶ祝儀ヶ
許ヶ 定連公御代始ヶ祝儀ヶ百石ヶ
妻保九辰年七月十四日ヶ百石享寄ヶ
成ヶ月廿二日永之ヶ暇ヶ構ヶ
享保九寅二月家ヶ助ヶ
渡月番
司百石養者ヶ
和九石御免永三十家ヶ
寛政六寅ヶ知行ヶ
再加ヶ

二十人扶持ヶ養者組ヶ
ヶ年寄ヶ

家督七百石ヶ年寄ヶ
文政七家督五百石ヶ年寄ヶ
為ニ及ヶ加増七百石ヶ
慶應元 家督七百石ヶ年寄ヶ

久松佐渡守ヶ御舎弟ヶ
慶長十四下総山川ニ万五千石ヶ
祖頭大名ヶ
臣民ヶ
政成ヶ

同 左大夫 三吉
同 七郎右衛門 正重
同 半蔵 秀
同 半蔵 服
同 半蔵 盛
同 半蔵 美
同 半蔵 記
同 半蔵 初物五作
同 半蔵 初名
同 半蔵 初名
同 半蔵 初名

弐千石但領大去後隠居七百石共千五百石大去
三月廿七日卒
部屋住千七百石但父月番家督千五百石加增弐千石 寛文十一亥十二月十九日卒
後五百石加増弐千石月俵定
定經公御代弐百石用人ニ召出ス加増千石
文七亥百石加増大老延宝年中ニ赦免ス城代但父隠居料三百石
家督弐千石大老 天和三亥三月逼塞家督
部屋住大番ニ召出但父宝永七寅月俵御合
隠居 享保二酉年家督千石
弐百石ニ養者番ニ召出但父宝永七寅月俵御合
改テ三郎助様附正徳二家督千百石享保二酉年
七年百石加増後千五百石 十二月廿二日 定
以 命 定賢公御後見ニ仰付

享保十二酉年弐百石ニ養者但父ニ同十六亥年
百石後月番元文五申年逼塞延享二丑年赦免
家督五百石ニ養者後元文四未年明死五月
隠居月俵 天明四辰年三百石加増都合千石

同 式郎 義貫
同 十郎 世下 改五郎

同 十郎 吉重後壱 嫡男
同 喜内 後治兵衛 壱恵 次男
同 治郎 吉明 壱恵長男
同 治兵衛 吉治 壱幸
同 式部 義長 十郎 壱次男

同 丹下
同 十郎 世下 修子養祖 淳祐
同 文六 旧三男
同 駿河 旧次男 勝愉 丹下
同 十蔵 記 丹下
同 芳次郎 服部半蔵

家督弐百石 家督四百石新高附格之後
家督ニ非ス家名四五年以由

久松主部左衛門吉重三男
弐百石取小姓与名共父吉重隠居之時五百石都合七百石ニ而番頭ニ定重公御代三百石加増
川番　内膳様ニ御座候時都合千石ニ而番頭
家禄六百石為執行ニ使被差登候節物頭
家老奥平三郎兵衛次男
寛永元十二月十日家禄五百石ニ而使被
仰付候ニ隠三ニ而番頭
駿府ニ手傳之節ニ而も相勤奉行ニ使被
仰付候ニ分元文五隠居願居候ニ而被
弐百石ニ而家督
物頭
家禄四百石ニ使番ニ而物頭ニ而
四老公ニ同九百石ニ加増実吉村小兵衛三男
寛永三丙寅年正月三十俵三人扶持ニ而
扶持ニ而者仰ニ同九両弐百石ニ而
寛政三成家督四百石ニ而使番ニ而
家禄半知弐百石ニ而出世五十石加増
家督ニ而者ニ而隠居
安永弐百五十石ニ而
安政弐百五十石ニ而
家督弐百石ニ而使番ニ而
加増両度ニ而処ニ而
家督弐百五十石ニ而
安政弐百五十石ニ而
家督弐百五十石ニ而
安政弐百五十石ニ而

久松新蔵
喜内

久松外記
平馬　勘兵衛

久松文治
義旭

久松平馬
左源太

久松外記
喜内改嘉兵衛

久松文治
改外記

久松音門
服部日記甥

久松半
猶之

久松勘解由
次男兄ノ子ヲ養ヒ

久松勘解由
嫡子ニ而

久松右馬亟

福島左衛門尉父子浪人
朝鮮代代之時歟首一級子苗一宮鎌
其後加賀利家卿之家臣成其後正
二則州中島猶居之時宣充州嶋二面
利勘房此後本多美濃守父子森美作守
為仕使者五千石与力同心五十人長男玄蕃千石三男権左門五百石
壹万石高三千枚石出

千石三千文宣充十二同之枚石出定文六元去
元則父本多後加藤式部大輔父(忠広)
其後 定經公御代部屋住之時文枚拾貳家
家督千七百石内弐百石八足軽料外小頭両人先千一但頭年寄分
未、委、記、

他所、養子、出ル如不仕ル者ハ
定綱公逢御穂五百石御番頭
定重公御代部屋住之文枚拾貳家
年寄分ニ軽二千人ニ頭元孫十七依ニ頼月番

室永三酉光成百石 定達公御入部為祝儀百石
隠元隠居改文内、隠居料弐百石
弐百石ハ不仕ル故田ニ為ル心

三輪十左衛門養子三代ニ仕ル内四ニ代ニ仕ル者ハ
隠居分ニ有之候統ニ仕ル者ハ
石養者内十月ハ先年一但ハ頭内三
月番見習内十二月月番家督千五百石

弐百石ハ養者ハ出家督千三百石
月番ニ後弐百石ハ加増千五百石
改道確隠居料百石

弐百石ハ養者ハ不仕ル後病死
弐百石ハ養者ハ不仕ル後百石加増
後年仕ル内四石ハ病隠居

寛永十酉石年寄分月番後病隠居

猶子	内	玄蕃	村又左衛門 初助市 宣充
次男	内	将監 宣光	
猶子	内	将監	
三男	内	又左衛門 宣堅	
小兵衛	悉番	宣貳	
猶子	内	弾正	実将監猶子 内又左衛門 宣幸
次男	内	又左衛門 玄番 翠山	
	内	又左衛門 助市	

定數之外代或百名新加等之事延享二酉年

寛政四子年

吉村孫十郎

小堂居寛政四子年

寛政四子年

吉村孫十郎

寛政四子年

吉村孫十郎

寛政四子年

吉村孫十郎

寛永廿年宣旨ト一同ニ百名ヲ出ス百名ノ後
定紙ニ会津信濃ヨリ猿仲ヲ共ニ預ケ給ヒ
元和元年ヨリ分知ニ及ビ都合千二百名ヲ
ト給ヒ寛永十年ヨリ分知ニ及ビ都合千二百名ヲ
定重代二百名ヲ定ム文年中ヨリ
子孫ヲ加ヘ寛永年号ヨリ分知ニ及ビ
道指宿ニ百名ヲ分知ニ百名ヲ後年ニ
知ニ及ビ都合千二百名ヲ
ト給ヒ寛永十年ヨリ分知ニ及ビ都合千二百名ヲ
定重代二百名ヲ定ム文年中ヨリ
子孫ヲ加ヘ寛永年号ヨリ分知ニ及ビ
道指宿ニ百名ヲ分知ニ百名ヲ後年ニ
知ニ及ビ都合千二百名ヲ

寛永三年
吉村権蔵
寛親

猿仲
元和元年
分知ニ及ビ都合千二百名ヲ
ト給ヒ寛永十年ヨリ分知ニ及ビ都合千二百名ヲ
定重代二百名ヲ定ム文年中ヨリ
子孫ヲ加ヘ寛永年号ヨリ分知ニ及ビ
道指宿ニ百名ヲ分知ニ百名ヲ後年ニ
知ニ及ビ都合千二百名ヲ

永禄八百名当年養老之扶持給候間可令存知候也

自然延喜之格勅旨候間如件

永禄二百名当年養者

永禄二百七十名新附養候者百名当年養老

永禄三年一百名当年養老

永禄二百名当年養老

永禄二百名当年養老

永禄二

二之丸極印曲緒之次第ハ寛永十五大坂ニ於テ
御頼ニ依テ城代
父上一同ニ於テ承リ玉フ名称ハ居合ノ玉フ名

義兵衛年中二百余人打捕ル内ニ百余ハ深手ヲ負
大将父上ニ果ル百余ハ手負ヒ深手ヲ負ヒ
依テ父上ニ或ハ家来一人捕ル内ニ
某者ニ薬師寺中村仲兵衛

奥平庄兵衛
嫡子 同 源五兵衛 早世
次男 同 左太郎 貞清
同 八郎兵衛 貞澄

駒井氏猶子ニ於テ松陵院様ニ曲緒之次第
弘十枚之人打捕ル内ニ百余ハ深手ヲ負ヒ
ル者ハ百余人ハ同ニ百余ハ深手ヲ負ヒ
居ル者ハ百余人

或ハ百余ハ深手ヲ負ヒ百余ハ手負ヒ
百余ハ軽キ手負ヒ百余ハ深手ヲ負ヒ
七百余ハ天明ノ飢饉ニ餓死ス

或ハ百余ハ深手ヲ負ヒ百余ハ手負ヒ
発天明ニ餓死ス七百余ハ同八病死
或ハ百余ハ深手ヲ負ヒ天明八申十月
月発ス百余ハ悉ク天明八申十月発ス
千人打捕ル者ハ或ハ百余ハ深手ヲ負ヒ
手負ヒ百余ハ軽キ手負ヒ

同 求馬 八郎兵衛 貞隆
同 求馬 八郎兵衛 貞雄
同 求馬 八郎兵衛 貞憲
同 求馬 八郎兵衛 貞亮
同 求馬 八郎兵衛 貞雄
嫡孫 養祖 徳兵衛 養子 同 八郎兵衛 鉦之輔

中藏冬、在位如元和元年迄慶長十四年山川
出拜伏之節以下之事如大坂陣前之条々
延寶寅年正月十七日中間十人仕之候節
於大坂口御中間之内二討死仕候者共之子孫
元和二年中間帳ニ之有之

（慶長十四年山川出拜伏之節以下之事如大坂陣前之条々
下之事有之候者共之子孫延寶寅年正月十七日中間十人仕候節
討死仕候者共之子孫元和二年中間帳ニ之有之）

討死二百石余 勝元家ニ傳来之時ニ百石余 慶長陣奉公附

三輪彌左衛門 元継
同 小左衛門 長男
同 権左衛門 次男 元辰
同 弥左衛門 勝元 次男
同 十左衛門

討死百石余 勝元家ニ傳来之時ニ百石余 慶長陣奉公附

同 弥左衛門
同 源之進
同 弥左衛門 勝元 次男
同 弥左衛門
同 権左衛門 杉江 式胎
同 権右衛門

[illegible]城守被出　定紀公御代寛永十六年
三月被来名隠岐今千五百石御馬飼料
[illegible]与力二十騎為御附[illegible]

北大坂[illegible]弐千石史壱萬俵御給

七百石　宗村筆頭　久徳左馬助　宗村
正保二乙酉年三月二百石御増[illegible]
[illegible]

家村子在江戸[illegible]四百石御増　宗村嫡子　同　勘助　宗村
[illegible]
元禄十二己卯年[illegible]弐百石御増　宗英次男　同　隼人　宗英
[illegible]
[illegible]

高[illegible]　高祖長男　同　[illegible]　民部左近将監
[illegible]

弐百石　養者[illegible]弐千七百石　月番宿役[illegible]
[illegible]

弐百石　養者[illegible]弐千七百石　月番宿役[illegible]
弐百石　養者[illegible]弐千七百石[illegible]

同　為[illegible]　左近新助　高[illegible]久徳
同　伊織

（来る子弐百石新寄附格[illegible]養者[illegible]
先々月番宿[illegible]

[illegible]八百石新寄附格[illegible]養者[illegible]
[illegible]

[illegible]七百石新寄附格[illegible]養者[illegible]
[illegible]

長男　同　志摩　新介　民部
三男　同　新助　織部
四男　同　隼人　織部　与[illegible]

寛永十六[illegible]家村[illegible]
[illegible]
事[illegible]百石養[illegible]養者[illegible]
百石[illegible]

左馬助　宗村次男　久徳小[illegible]　宗文　十郎大夫　次郎左衛門

延宝三癸卯年二百名且復粮者閏元禄五辰年ヨリ除之
又延宝四丙辰年養者享保二乙酉年ヨリ除之右神二十石
享保二乙酉年養者後五十石加増
又享保六辛丑年養者後五十石加増
右合二百二十石除之
二十俵之人小姓与ヨリ出　早世
廿俵之人御目見以上ニ而御勘定ヨリ出養者後ニ
又御目見以上ニ而御勘定ヨリ出養者後ニ
二十俵之人御目見以上ニ而御勘定ヨリ出養者後ニ
又御目見以上ニ而御勘定ヨリ出養者後ニ
又抱席ヨリ

一廿将定勝公防長在　定繰合六万四千石
七百石
家禄四百石　此外月俵定永十年ニ百石
石ハ加恩都合十石
家禄五百石　定文十一年ニ防府在勤百石
家禄四百石　馬回宝永七使番正徳三物頭同五奏者組ニ
三年依文ニ小姓ニ
加恩高分ニ而合五百石

酒井三右衛門　濁重
同　次郎介　三右衛門　朝房
同　三右衛門　吉介　八郎太夫　朝昌
同　三右衛門　朝高
同　三右衛門　三次郎　五郎右衛門

家禄四百石　馬回宝永七使番正徳三物頭同五奏者組ニ
天明六年ニ百石加増
家禄四百石　此外月俵定永十年ニ百石加増
五百石高分定有月俵百石加増高分
又ハ拝借ニ而奏者ニ成ニ百石加増
定有月俵百石ニ而奏者ニ成ニ百石加増
家禄五百石　定文十一年ニ防府在勤百石加増
ニ而奏者ニ成ニ百石加増高分

松平清左衛門次男
同　八帝堂
大学と改次男
同　左膳　三右衛門
孫八郎ニ改
同　孫八郎　三右衛門
拝領ニ而元次男
同　三右衛門　左膳
同　孫八帝

於淀百五十名迎羽多丸供奉百人
定良云神月俵百石又四百名供奉都合千百
都座住吉方米百俵人給附供奉者供奉
八百石月俵二百石供奉都合千百名
（貳百名供奉者供奉百名供奉都合千百
二百石
家隆六百名新嘗祭附供奉百名供奉
家卿従五位上賀茂神主供奉
賀茂別雷神二百名供奉供奉者
賀茂別雷神二百名馬四匹供奉新嘗祭附供奉者
新嘗祭二百名供奉供奉者
新嘗祭二百名馬四匹供奉新嘗祭附供奉者
馬四匹供奉物忌父供奉者四人物忌
帰女五十名供奉者供奉後組頭都合卅名

林権大史 賀堅
同 長房 賀高
同 権大史 賀信
同 権大史 賀成
同 舎人 実中
同 繁八
同 権大史 常姓 賀之

酒井宮門大輔橡源人宮内権少輔源
初位下貳百俵二人扶持大皇廿俵二人
扶持並二下平四郎ト改ム今ニ迄ニ扶持ハ今ニ
衆名俗々新内ニ言名ニ下ニ置ニ改ニ
二人扶持

五百石 出組頭 早世

帰女ニ死後五百石ニ下ニ組頭ニ
早世ニ庵子ニ跡ニ死去ニ夜ニ思召ニ
方ニ孫女人ニ門ニ人ニ仕ニ
二ニ

牧野古廟 後古庵 号前成設

次男 同 鷹之

同 長八 成正

十七

[illegible]人扶助ヲ受ケ世襲ノ者ニ限リ[illegible]
[illegible]ヲ扶助ヲ受ケ世襲ノ者ニ限リ[illegible]
[illegible]ヲ扶助ヲ受ケ世襲ノ者ニ限リ[illegible]
[illegible]ヲ扶助ヲ受ケ世襲ノ者ニ限リ[illegible]
[illegible]ヲ扶助ヲ受ケ世襲ノ者ニ限リ[illegible]

（高松藩）
（光介追放）

一金百五十両
一金百両
一金五十両
一金三十両
一金二十両

右ハ名主百姓共ニ依格式者ヲ以テ益有帰農剛毅
質朴ニシテ郡中上村ヲ畑松山ヲ
負共

家督五百石後影等附ケ番頭隠居

高松藩士 高松次郎 同 新五左衛門（洋癖 負改）
同 同 小膳 同 安之助（小膳 負改）
同 同 小膳 同 安之助（小膳）
同 同 舎人 養山 同 純次（舎人 養山）

家督四百石馬回ヨリ使番ヨリ鉄砲頭ヨリ旗奉行
ニ進ム者多シ故ニ

家督三百七十石馬回ヨリ使番ヨリ鉄砲頭ヨリ旗奉行
ニ進ム者多シ故ニ

家督三百石馬回ヨリ使番ヨリ鉄砲頭ヨリ旗奉行
ニ進ム者多シ故ニ

家督二百石馬回ヨリ使番ヨリ鉄砲頭ヨリ旗奉行
ニ進ム者多シ故ニ

（高松藩）

同 同 隆重 同 同（隆重）
同 同 祥重 同 同（祥重 八次郎 藤兵衛 養祖）
同 同 重遠 同 同（重遠 弁五助）
同 同 雅 同 同（雅）

（高松藩）

一金百五十両 定式ノ通リ
一金百両 定式ノ通リ
一金五十両 定式ノ通リ
一金三十両 定式ノ通リ
一金二十両 定式ノ通リ

右ハ名主百姓共ニ依格式者ヲ以テ益有帰農剛毅
質朴ニシテ郡中上村ヲ畑松山ヲ
負共

家督五百石後影等附ケ番頭隠居

高松藩士 高松次郎 同 新五左衛門（洋癖 負改）
同 同 小膳 同 安之助（小膳 負改

家禄百石廿石卅石以下大小姓以後同
以下格都合百五十石定及四数族共
長禄元年記
[illegible]
[illegible]
[illegible]

高百石以下之面々

一百俵　定御番并進
　　日孫九郎殿　　文治元
　　廿五俵ニ而被召連候人数
　　廿五人

文化十二年乙亥四月廿五日

元禄元年戊辰山川家志磯百五十石内九人扶持渡立百石
元禄十三年庚辰百石加恩内五十石引六百石加恩御人数八百五十石

家督三百石后近習仕立百石加恩四百石

家督三百石新高内定文十八表者

元禄九年丙子五月十日使者三人

小出善兵衛

同 弥惣兵衛 房信

同 弥惣兵衛 正勝

同 治兵衛 門

廿二

文化十二年乙亥四月廿五日

同 権之丞

同 権之丞

同 権之丞

享保三年参百五十石以両回
宗旨百三十石以使家以養者以被預遣之品
忍三年於合二百石
家禄三百石以使家以養者以物預候使物預候使家以養者以
家禄三百石以両回以使家以養者以
家禄弐百八十石以両回以使家以養者大両回
享保弐年預五十石以恩以享保二月被渡本出席
家禄三百三十石以享保

定額公布代替ニ付廃止ス

一金四拾圓也

一金壹圓也　但シ一人ニ付キ

七十歳以上ノ人ニ到達スル日ヨリ

一金百圓也　但シ本社ニ限リ

一金五拾圓也　但シ一般ニ限リ

一金拾圓也　但シ一般ニ限リ

一金壹圓也　但シ一般ニ限リ

院ニ於テ額面ノ枚数ニ応ジ

一金百圓也

一金五拾圓也

一金拾圓也

一金壹圓也

一金五圓也

一金壹圓也

一金五拾圓也

一金拾

三十俵之人扶持　惣勢　同　武左馬　高直
惣用人定府　惣名代　同人　嫡子　同　源左馬　武之亟
家督　惣名代　家来　扶持　役料
定邸詰　三十俵之人扶持　惣勢　同　武左馬　又高
三十俵之人　惣名代　同　源左馬　武之亟
十五人扶持　惣名代　家来　扶持

代官　惣勢　神山喜弥
目付　惣名代　同　源左衛
高百石　惣名代　同　鉄之助

家督十一石之人　惣名代
家督十石之人　惣名代

同　源左衛
同　金次郎

高三百石　十人扶持　惣勢　三宅正賢
惣名代　家来　扶持
惣名中　五人扶持
三百石　十人扶持　居宅　惣勢　同　賢忠
惣名中　五人扶持
家督　三百石　惣名代　同　賢恕
掌左一　帥次男
同　清五郎

廿五

同十文
同遠吉
同十文
同柾人
同十文
同十文

杉野道云　入百文　大夜不出拍子　入百文　今夜拍子　入百文

又一石ニ付人扶持十人扶持ト和訓川百五十石
通高弐千石
家禄一百五十人
家禄一百五十人ハ俸禄ニ依テ弐千石ヲ給ス
家禄一百石ヨリ百五十石ニ至ル間ハ俸百弐十石ヲ以テ
三年係ノ人ハ小姓十係ノ人ハ徒士ニ補ス
三年係ノ人ハ小姓ノ側役ニ補シ其内ニ
三年係ノ人ハ小姓ノ側役ニ補シ其内ニ
三年係ノ人ハ小姓ノ側役ニ補シ其内ニ

同　吉住
後佐伯ト改　大鶴孫之丞
佐伯勘蔵
同　勘蔵　左隼人ト改又佐伯ト改　元八年作
同　大津吉左衛門　軍事ニ付
同　士蔵　元年ニ付
同　士蔵　元年ニ付
同　士蔵　元年ニ付
同　吉住　繋雄馬ニ付

先ヲ田中無郡右衛門光和ト改川ヲ吉
十七人仕着ニ付三人ハ別段ニ
定給百俵代ヲ以テ弐百俵ヲ給ス
三年係ノ人ハ五人ハ徒士ニ補ス
三年係ノ人ハ小姓ノ側役ニ補シ其内ニ
家禄八十石ヨリ下ハ百石

家禄百　ハ家禄ニ付ル両役ニ
家禄弐百
家禄弐百五十石
家禄三百石ヨリ四百石ニ至ル間ハ俸禄弐百石ヲ以テ

土田彩蔵　三男
同　伴蔵
同　伴蔵　改伴作ト改
同　伴蔵　拳五郎ニ付
同　伴蔵
同　彩蔵
同　彩蔵
同　宅蔵

百名

百名

八十名

七十名

右平均百姓等

四十名百姓等内

半四間人数差引

都合八十名百姓等

都合七十名百姓等

同　強盗

同　強盗

同　強盗

同　林許

同　押蔵

同　強盗

同　強盗

同　強盗

於成川元和実百名居平名内

都合百名百姓等

十四名人数差引

都合八十名百姓代

都合百四十名内

都合百四十名百姓代

都合百五十名百姓代

前書忠落

同　忠落

同　忠落

同　忠落

同　忠落

同　忠落

同　忠落

同孫二郎

小栗義重

同治門次郎

同伊賀守

同孫二郎

同左仲

同左仲

同

同

同

同

同

同

同

同

陽雲院様御代宝永四年ニ高
ニ而名田御免ニ成ル
家数ニ而ハ無之
家数弐百三十七軒ニ而内ニ
役ニ而無之
家数ニ而ハ無之
家数ニ而ハ無之
家数ニ而ハ

又死去之節百石不定之年数ハ其時ニ
有之事ニ候
一 拾人扶持ニ而百石ニ候
一 拾人扶持ニ而百石ニ候
一 拾人扶持ニ而百石

高四百十石八斗奉行
定米千年於石伍沙弥之
家督之事
一高百七十石四俵弐人扶持
一同少勝之家督沙弥
一同浮雲之家督沙弥
一同浮雲
一同浮雲
一同浮雲

高年老病貧
十四名給粟有差 定國公追封王爵 追恤
故參將王名元死事例也
寶慶年中古年老 高年老病貧 下部勘
故指揮王名元等四十六名 故指揮王名元等四十六名
百名 追贈有差 故指揮王名元等四十六名
故參將

故指揮王名元等四十六名 故指揮王名元等四十六名
故指揮王名元等四十六名 故指揮王名元等四十六名
故指揮王名元等四十六名 故指揮王名元等四十六名
故指揮王名元等四十六名 故指揮王名元等四十六名
故指揮王名元等四十六名 故指揮王名元等四十六名
故指揮王名元等四十六名 故指揮王名元等四十六名
故指揮王名元等四十六名 故指揮王名元等四十六名
故指揮王名元等四十六名 故指揮王名元等四十六名
故指揮王名元等四十六名 故指揮王名元等四十六名

高二百石新井勘兵衛
於某名百字ヲ以テ百字ヲ以テ惣表郡
ヲ以テ惣名ヲ以テ百字ヲ以テ惣表郡
同姓ヲ以テ氏ヲ以テ百字ヲ以テ惣表郡
字ヲ以テ惣名ヲ以テ百字ヲ以テ惣表郡
字ヲ以テ人ヲ以テ百字ヲ以テ惣表郡

長本三郎左衛
毛利筑馬
同 修馬 次男
同 仲馬
同 仲馬 柔中改
同 修馬 勤馬
同 修馬 名ヲ修馬ニ改
同 仲馬 修馬ニ改
同 仲馬 修馬ニ改 作仲 修馬ニ改

定賢ヲ以テ代字ヲ以テ氏ヲ以テ
惣名ヲ以テ百字ヲ以テ惣表郡
ヲ以テ

家号十四字ヲ以テ
惣名ヲ以テ百字ヲ以テ

二代目作之右衛門 文吉改名
同 文吉 文吉改名
同 平助
同 半兵衛
同 作十郎 半兵衛改

一百四十二石未名記百姓共ニ
此外
定免之内代官預之節ハ
名主一人ニ付金一両ニ
永五拾代銀ニ而ニ十俵之
三十俵ニ付一人宛御雇百姓
弐拾八人

一百十九石
家数弐十七軒
此外
定免之内代官預之節ハ
名主一人ニ付金一両ニ
永五拾代銀ニ而ニ十俵ニ
三十俵ニ付一人宛御雇百姓

大場八左衛門
同 喜左衛門
同 半内
同 新八
同 小平
同 五兵衛
同 小兵衛
同 喜左衛門
同 孫兵衛
同 八郎兵衛
同 五郎

同　安兵衛
同　安蔵
同　安兵衛
同　安蔵
同　安兵衛
同　安蔵

高百五十石
吉村又左衛門
家来一百名位
同断一百名位
同断一百名位
同断

八十石四斗四合
三千俵之人扶持米内百石四斗
家持八十石四斗四合
三人扶持米内百石四斗四合
家持百石四斗四合
同　市郎右衛門
同　市郎左衛門
同　[illegible]
同　市郎兵衛
同　利兵衛

百三十石
百三十石大内戸四郎殿
家持百石
三千石四斗四合
三千俵之人扶持米内百石四斗四合
家持百三十石四斗四合
同　鳥飼宮内
同　郷兵衛
同　郷兵衛
同　右仲
同　右仲
同　右仲
同　次郎

令統公所代辛俵之人表紙仁模目無之
家數二千俵之
家數十五人淺半之表紙無之
此分面
二人扶持之表紙家數百石當面半筆除
辛俵之人表紙無之面家數百石
家數九十石當面表紙無之面筆除

萬八郎 弓削寿惠馬
伝介孫右衛門 同 半蔵
常住寺大仏殿勧進聖 同 祥雲
同 助蔵
同 三木
同 (小三太) 喜惠馬

於松定此十一石五斗五合屋敷
家數百石當面

三人扶持之表紙家數百石當面筆除
家數八十石

家數二千石
家數十五石之内諸屋敷百石當面
江戸定詰其外

三人扶持之表紙家數百石當面筆除
三人扶持之表紙家數百石

篠宮十惠馬
同 (十五) 長恵
同 市之丞
同 (佐八才) 十惠馬
同 庄八
同 郡司
同 (孫右) 孫四郎
同 (久八) 十惠馬

（朱）
（朱）
（朱）

高弐百十九石弐斗弐合之内

村松兵吉

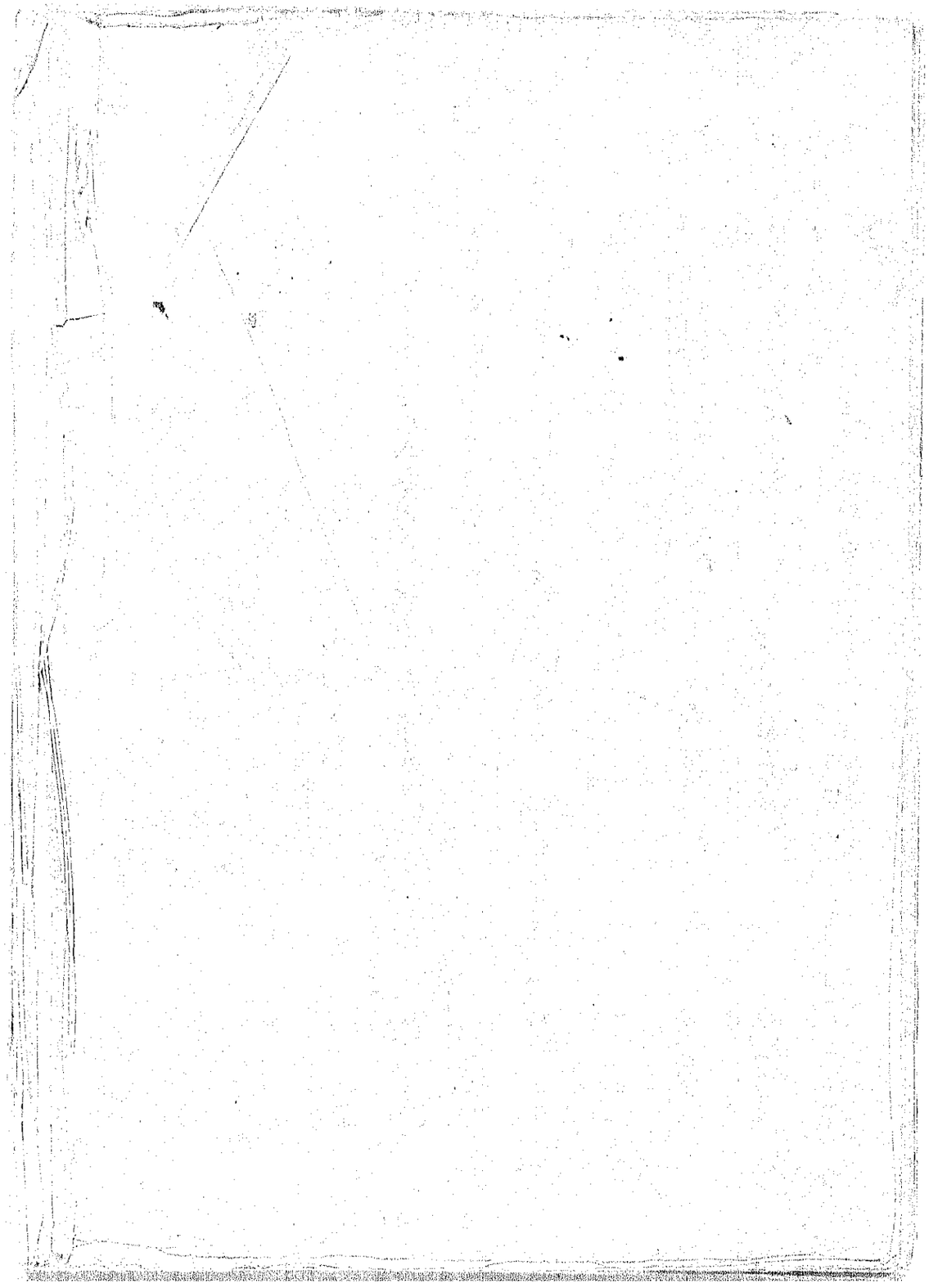
同 角蔵

同 幸蔵

家数百五十六軒 内 人数四百七十五人 内 男 二百五十三人 内 女 二百二十二人
家数百四十六軒 内 人数四百五十六人 内 男 二百四十人 内 女 二百十六

高百四十石八斗
久徳織部力力五十石 元禄公時代四
(以下不明 四枝公時代 享保六年 四
享保四年六月 百石四
四年 百石
享保六年 百石
享保三年 百石
享保六年 百石
享保六年 百石
享保六

同　愛馬
同　金馬　押印
堀　傳衛
日　太命義
日　太命恵
日　徳命



辛弃疾

一	二	三	四	五	六	七	八	九
鍾口前	樋口 同吹	首藤金	成瀬向井岡	同想治	鮭沼權	園森晩泉	柴田岡田	小山
鈴木仙治十	菅谷権十二	菅谷	田中路	筧摩吉	杉山井上十五	井上岡安	啟下 十七	伊久間木 十八
雷永 十九	島晃 松田与 廿	高野 廿二	龍川 廿三	佐治水野 廿四	菅谷 廿五	牧村 須田 廿六	大平 廿七	横村 間谷 廿八
秋村 廿八	高木上田 廿九	三木澤 卅	志賀 卅一	関戸菱田 卅二	加太 卅三	加太 牧 卅四	小川破 卅五	木村 卅六
真鍋野垣 卅八	宮澤歌訪 卅九	馬場 四十	鳥揚浪藤 柿一四四	妻田 二四四	南條 四四三	駒井上八四四	鈴木織 四五	町田老 四六
寺田 四七	内田福島 四八	伊東 四九	北島豊田 五十	豊田富田井 五一	加藤 編五一三	関町 五二	榊川 五三	関戒合 五四

松浦	鈴木	西谷	朝比奈	林	早部	十月	廣藤	田中
六十五	六十五	六十五	六十七	六十七	六十八	六十八	六十九	六十九
三浦			三浦				河合	于島
松野	戎野	星野	横井	濱川	三谷	福田	平塚	神妻
六十	七十	七十	七十三	七十三	七十二	七十二	七十一	七十一
		小河内	江間	小野	拯池	福井		佐藤
據尾								
六十								

書面五十名ハ使来
十五名ハ即ち姓名ニ出ル名筆ニ見ユ字名ハ下ニ
百字名ハ加增ニ船奉行
家督百名ハ姓ノミ奉行
家督百名廿名ハ増ニ横目
家督百十名ハ西ニ出ル姓ニ横目ノミ本家
ニ出ル名ハ使番格
ニ出ル名ハ西ニ出ル姓ニ横目ノミ本家

樋口前定
同 十定
同 乗定
同 前鏡
同 前定

鈴木長二郎ハ即ち

宋璟一百石馬四匹米六十石僕射
四匹米六十石僕射
同書令
大都督府長史一人從三品馬四匹米六十石僕射
都督府僚佐一人馬四匹米六十石
都督府僚佐二人馬四匹米六十石
都督府僚佐三人馬四匹米六十石
同書令
極品次貴
同左丞
同侍郎
同給事
同

都督府僚佐一人馬四匹米六十石
都督府僚佐二人馬四匹米六十石
都督府僚佐三人馬四匹米六十石
同書令
大都督府長史一人從三品馬四匹米六十石僕射
都督府僚佐一人馬四匹米六十石
都督府僚佐二人馬四匹米六十石
都督府僚佐三人馬四匹米六十石
同書令
極品次貴
同左丞
同侍郎
同給事
同
同藩鎮
極心腹
同
書令
極品次貴
同
僕射
從二品
同
尚書
正三品
同
侍中
門下省
長官
同
中書令
中書省
長官
同

高百九十石新寄四名

高三百十石

寛永十五年 御馬医 並ニ勤略 年中順番ニ

又ニ口ニ而 四俵 四人扶持 三口ニ而

柴田傳藏

同 市蔵

同 十藏

同 十藏

同 十藏

本係之人萬吉五十係寺人安勝安勝寺係
萬田本係四婦
安勝母平係只人萬田後百名
安勝九平九
安勝七平右跡有之絶家四軒
安勝母平係只人萬田只安壮
安勝母平係只人萬田只安壮
安勝母平係只人萬田只安壮
安勝母平係只人萬田只安壮

同 法名
同 治藏
同 金藏
同 幸藏
同 治藏
同 隅藏

山中之萬
同 久萬
同 久萬
同 久萬
山之帰 山之帰
同 求帰

九

高百五十石
壹人扶持
百五十石

百三十石 吹男 鈴木甫齋
同 壹萬 同 壹萬
同 壹萬 同 元圓
同 壹萬 同 壹萬
百三十石 馬四疋

百三十石 馬四疋 小姓共
九十石 百苞三俵 定詰共住民

百三十石 馬四疋 小姓共
同 千橋

高百五十石 名代
十名之後百石
百石之後百五十石 同人
百五十石之後百三十石 同人
百三十石

高百五十石 名代
百石之後百五十石 同人
百五十石之後百三十石 同人
百三十石

三百石上依田采地

同 三十郎

高百二十石 御蔵米取 御小性

寛永十二年七月廿五日

参拾弐人扶持 代貫高二百弐拾弐俵之内

八十石

五十石

四十石 百石 百石 百

杉山八蔵

同　八蔵

同　八蔵　右勝権八郎

同　権命

同　八蔵　仙蔵

同　弘枝　高橋深雪ノ助

同　八蔵　父ノ名ヲ継ク

井上寿蔵

同　平蔵

同　次郎吉

同　閑蔵　浅野貞吉郎

十五

同 惟一帥

門司 三宅鷲

同 七宮鷲

同 七宮鷲

同 七宮鷲

同 鐵之進

同 平出鐵

同 七宮鷲

同 平出鐵

高野源七

同 市宮鷲

同 竹五鷲

同 蔡軒

光徳院様御代寛正元庚申年ゟ
当寅迄二百八十七年

同 清寧
同 理兵衛
同 孫四郎
同 沐門
同 錢次

賞各壹貫
同 新平
同 彩秀
同 光福
同 彩玉
同 彩秀

田鏡院様御代出家被仰付
寛政元酉年御家督
寛政四子年御元服
寛政四子年御初入国
寛政十午年御参勤
寛政十二申年御帰国
寛政十六年
牧村蔵人
同安驚
同蒙美
同若美
同勝美
同八市

同左膳
同八市
同帝美

濵田宗庸
同四美

京都御留守居
大浜御代四代仕候
勝安房守殿N
御懇意被成下候N
蜷田慶安

百石
大炊御門大納言

明聖 慶徳命代世久不改之至十倍者
寿三千倍之人口而笑小姓十倍者之人口而
三千倍之人口而奉行十倍者之人口而
之人之至二十倍口而笑小姓口書院發

加太忠蔵
同左馬
同忠蔵
同左馬

京極高慶公御家督ニ而延宝三乙卯年
御入国之節御供ニ参者ニ而御知行
寿者之人口而笑小姓口書院發
寿者之人口而笑小姓口書院發
寿者之人口而笑小姓口書院發

寛文三年 [illegible]

[illegible]

[illegible]

[

大法之門代々之主不知四海洪恩之有
ㇾ之者百名已上之間不ㇾ及ㇾ記ㇾ之
ㇾ之者也

永享七年乙亥四月四日

同　金馬

同　左仲

同　左仲

永享七年乙亥四月四日

永享七年乙亥四月四日

同　左馬允

同　左馬允

永享八年丙子四月四日

同　左馬允

寶永四年亥七月日附ㇾ之而已慶番已後百名

永享七年乙亥四月四日

永享百名已上之間不ㇾ及ㇾ記ㇾ之
ㇾ之留守居馬回

右百名已上之間不ㇾ及ㇾ記ㇾ之
ㇾ之留守居馬回

右百人已上之間不ㇾ及ㇾ記ㇾ之
ㇾ之留守居馬回

永享百名已上之間不ㇾ及ㇾ記ㇾ之
ㇾ之留守居馬回

右百人已上之間不ㇾ及ㇾ記ㇾ之
ㇾ之留守居馬回

永享百名已上之間不ㇾ及ㇾ記ㇾ之
ㇾ之留守居馬回

高四百石以米金被仰付候
役料
銭弐拾貫文
十両二人扶持
御徒士弐百石以上弐百五拾石迄
御徒士弐百石以下百五拾石迄
御徒士百五拾石以下
御徒士百石
御徒士百石以下七十石迄
御徒士七十石以下
御徒士
御雇
御雇人
御雇人
御雇人

後添番代ヲ以勤来ル子ノ年ヨリ
向ル
寅四月
来ル午ノ年ヨリ向ル四ヶ年
之間
十四人ニ而
十四人ニ而

高百八十六番戸
元禄十二年二百六十六軒

元禄十二年十月廿八日 医師之事

一 医者之儀、其流之名目不残、従前々之通可相勤事

一 医者之儀、其流之名目不残、従前々之通可相勤事

元禄十六年十月廿八日 医師之事

一 医者之儀、其流之名目不残、従前々之通可相勤事

一 医者之儀、其流之名目不残、従前々之通可相勤事

同　秀之進　轉

同　陸奥守　將

同　武馬　勝

同　源治　轉

同　鉄馬　勝

同　平太　轉

同　六郎　勝

同　安右衛門　轉

同　源馬　勝

同　安右衛門　轉

同　源治　勝

同　鉄馬　勝

同　平太　轉

同　六郎　勝

河合六郎　轉

同　六郎　勝

（二千九百八十八名ニ付金壹圓ノ割合ヲ以テ）
明和二酉年
（壹千九百八十八名ニ付金壹圓ノ割合ヲ以テ）
（三人ニ金壹兩ノ割合ヲ以テ）
（三人ニ金壹兩ノ割合ヲ以テ）
三人ニ金壹兩ノ割合ヲ以テ

岡 三郎
岡 惣左衛門 小舞子村ノ内ノ者
岡 惣兵衛 淡路ノ人金三郎
岡 惣八 淡路ノ人弘八
岡 三八 川崎英蔵ノ者

（十六年）
（三人ニ金壹兩ノ割合ヲ以テ）
三人ニ金壹兩ノ割合ヲ以テ

渋野円盛
岡 深貴
岡 平馬
岡 仲馬
岡 孟平 父ノ名ヲ継ク

金百十五両二分永百十八文
内
百六十人 一人ニ付
金壱分ツヽ
金十五両二分永百
（金壱分ツヽ
百五十人
内
金壱両ツヽ
百五十人
金百

平依ヲ人ヨリ大小姓ヲ至廿依ヲ受取
書學生ヲ人
書學二年生ヲ人
書學生ヲ人
書學二年生ヲ人ヨリ卒業十依ヲ人迄
書學生ヲ人ヨリ大小姓ヲ迄
書學二年生ヲ人ヨリ迄

三谷卯之藏
同　宇兵衛
同　宇脇
下村友開子　同　卯之藏
提リ有松三郎子　同　吉藏
佐久山敬介　同　卯之藏

書學二年生ヲ人ヨリ迄定為ヲ通塞

書學一年生ヲ男　同　傳藏
書學　同　卯之藏　久馬
書學　同　卯之藏　角次
書學二年生ヲ人ヨリ迄　同　卯之藏

秋田藩院権少代正徳二庚九月沙汰ヲ婦ヲ江迄七年
書學二年生ヲ名ヨリ卒業ヲ至ル三年ヲ名ヨリ
正徳二年　百名ヨリ卒業ヲ至ル三年ヲ名ヨリ

■姫池儀藏

（享保十九年人数百七十九人内訳
享保十九年人数百七十九人内訳
享保百四十人内訳
享保百四十人内訳
享保百四十人内訳

同　半蔵
同　半蔵　浅草
同　半蔵　門前
同　浅草
同　浅草

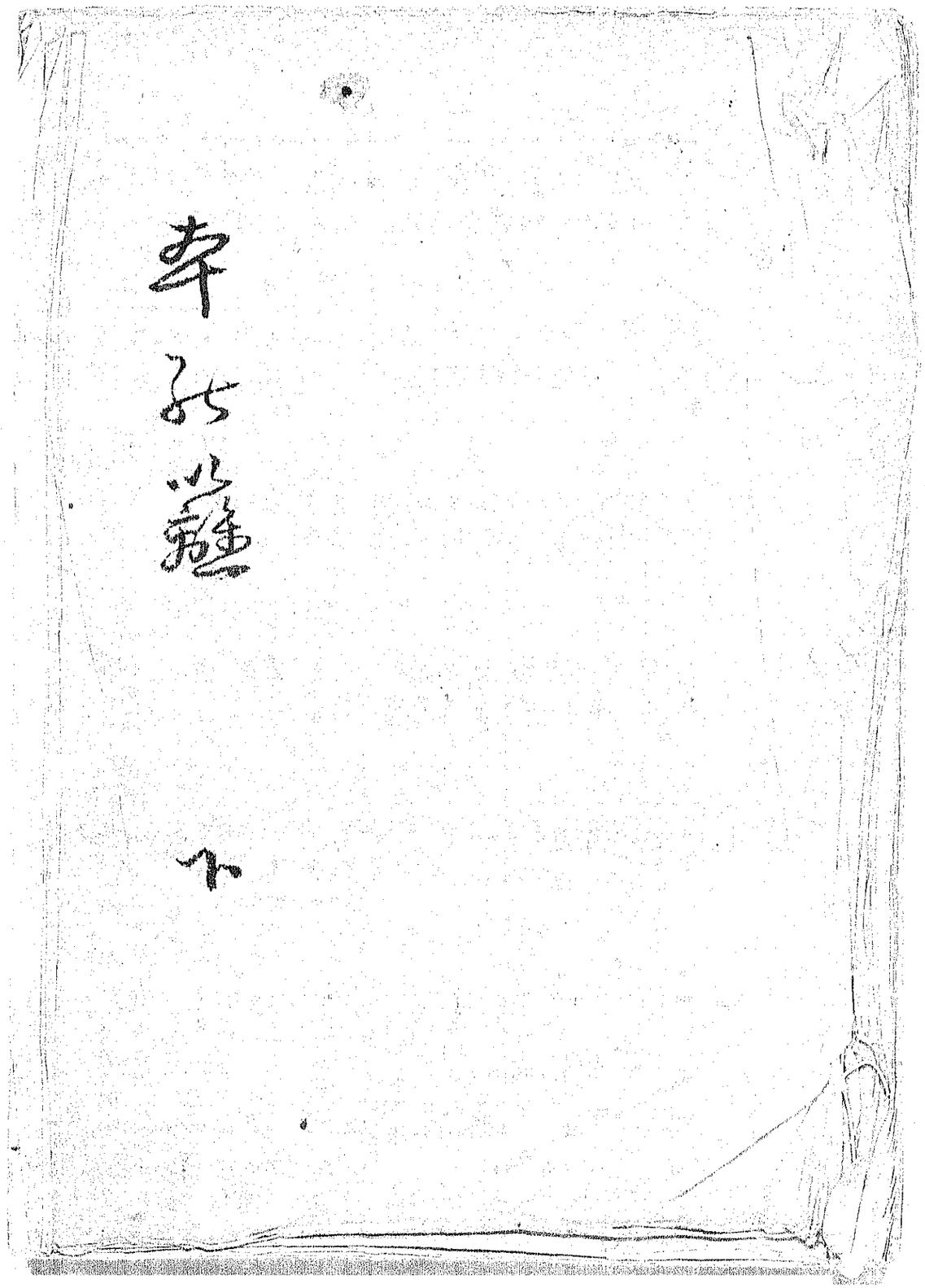
元徳四年渡来之節之分
享保以前

享保以前
享保十九年人数百七十九人
享保百四十人

福田春庵
同　春庵
同　宗云
同　宗云
同　宗云

（元徳三年百四十名渡来之節
享保十九年人数百七十九人内訳
享保百四十人内訳

福井志安
同　兵角



川崎 一	秋山 二	坂 三	高崎 四	石井 五	景山 六	田中 七	河合 八	加藤 九
河井 十	井上勝 十一	田原 十二	中野 十三	伊藤忠 十四	鈴木 十五	大平 十六	加藤 十七	西尾 十八
中村 十九	小柳 二十	廣瀬竹 二十一	早野 二十二	飯田 二十三	渡部 二十四	嵩崎 二十五	佐藤 二十六	松村 二十七
村田 二十八	山脇 二十九	岩尾 三十	宮部 三十一	細谷 三十二	吉野 三十三	岩田 三十四	山本 三十五	駒木根 三十六
玉井 三十七	原 三十八	高橋 三十九	岡田 四十	小川 四十一	宮崎 四十二	中野 四十三	戸倉 四十四	大森 四十五
竹沢 四十六	小島 四十七	中村 四十八	相澤 四十九	高見 五十	中山 五十一	谷口 五十二	岩崎 五十三	山上 五十四
河谷 五十五	杉村 五十六	渡部代 五十七	小島 五十八	河野 五十九				

城柳	町田福 六ノ四	成瀬次五	小野宇滝尾	伊藤謙 廿六	島崎内 六ノ五	平尾伊藤	宇野九西塊	落
本田 五ノ七	須藤孝	江川 六ノ八	手島忠	坂キ 豊田鍋	尾崎 五ノ八	田川金澤	井上良北条六	澤
亀井 五ノ九	斎藤文雄大	加治葛山	中村秩田九ノ八	坂本 六十	鶴口新鈴田典	西垣川島	成合真鍋九	
廣田文	吉村朔 六ノ二	魚屋ヨ籽ノ七	天矢 猫田六十					
余語廣瀬ル	大塚伸上右 六ノ三	山脇厚 七	中井					
南合点秋山立	小越直河合 三ノ	加藤加	木倉 一					

明暦三酉従十月廿六日申之刻出火
元柳丁清源院類焼并寺内数百軒
家数七千余
焼失町屋敷百四拾四町余并武家
勤定之屋敷四百弐拾軒余焼失
家数一万五千四百四拾軒
家数百四拾四町焼失
寺百六十弐所
土蔵千六百四拾六ヶ所
橋九ヶ所

川崎宮
同 勝重
同 小森友分 政重
同 英元 勝重
同 英元 勝重
同 深志
同 雄元

同　七
同　平藏　七
同　準吉
同　傳弥
同　喜市

元祿六癸酉八月廿日　萩原半助
西條之内新屋敷

来名安芸村出
坂　庄吉

代銀六拾七匁五分
家數三軒　人數十五人
内
男七人
女八人
此訳
百姓
一軒　五人
男三人
女二人
内
男
女
一軒　五人
男二人
女三人
内
男
女
一軒　五人
男二人
女三人
内
男
女

同　弥惣
同　富藏
河村安藏忰
同　富藏
同　多助
同　喜藏
西山村安次郎忰
同　重藏

文寛文十年六石以下廿俵賄之分貞享元年
御加増被下候御勘定人十四名之内四名之人数
四ツ之内二ツ二十石之人
享保元年ニ御勘定格之人御勘定吟味
四ツ之内四ツ御役
享保九年ニ御勘定格之人四ツ之内二ツ小姓組
四ツ之内二ツ御役

渡辺雲馬　雲支
同　雲支
同　支馬
同　支馬
同　金馬
同　久花

[illegible]
次小姓組之内ニ御勘定人廿一石
之人御役ニ成候人物書ニ御抜
之人数四ツ之内二ツ御役
之分ニ御勘定格之人四ツ之内二ツ御役

石舟馬
同　米馬
同　米馬
同　支馬
同　常馬

御勘定格之人四ツ之内二ツ御役
御勘定格之人四ツ之内二ツ御役
御勘定格之人四ツ之内二ツ御役

景山林亦
同　孫之進

十七名之人
御勘定格之人

家禄弐拾五人四人扶持
人数弐拾五人四人扶持
定有之事
人数弐拾五人四人扶持
役目等被
家禄弐百石
家禄千石
四通
代官
家禄弐百石
家禄千石
家禄弐百石
家禄千石
家禄弐百石
家禄千石

近衛七将佐士之外目付 荘務官 四鏡公時代方名二年以下之外 戦後勝山四字中出 戦前九人
阪四位三位之人 武具之外小弁 衛門四之品以上 書葉作業 三人
同衛門督以上之人 家礼百人以下之品以上 同 佐官
家礼百人以上之品以下 同 十二帝 三次帝 只今
三年使之人 家礼百人以上之品以下 同 九帝 三次帝
内舎人 武具之外 仗刀之品
大之外 家礼廿人以上之品以下 同 九帝 三次帝 修理亮 三位 仲信
大之外 家礼廿人以下之品以下 同 十帝
大之外 家礼十人以下之品以下俊

四鏡公時代方名二年以下之外 沙汰之品之外 柳生流剣術
内舎人 武具之外 仗刀之品
三年使之人 家礼百人以下之品以上 河合源蔵
家礼百人以下之品 同 源蔵
家礼百人以下之品 同 源蔵
家礼百人以下之品 同 基茂
家礼百人以下之品 同 八源蔵 源之助
家礼廿人以下之品 同 廿三郎 源之助
大之外 家礼廿人以下之品 同 八之助 実弟
家礼廿人以下之品 同 源蔵 源之助
大之外 家礼十人以下之品 同 廿三郎

家禄十石二人ニ当ル

同 筑子信濃子 同 淵蔵

同鏡公御代宝永七年廿石七人ニ大工頭

家禄二十石七人ニ大工頭

家禄十石二人ニ当ル 安名猶市阿大工勤ル 土野甚右衛門

家禄十石二人ニ当ル 同 寅吉

家禄十石二人ニ当ル 同 寅之丞 勤十年

家禄十石二人ニ当ル 同 善輔

家禄十石二人ニ当ル 同 善務

家禄 当ル

同鏡公御代山田吉盛ト申人臺所大工ニ被仰付十石ヲ以テ召抱ル

家禄十石ヲ以テ召抱ル

十石ヲ以テ召抱ル 谷口藤蔵

家禄十石二人ニ当ル 同 栄治

家禄十石二人ニ当ル 同 栄蔵 勤十年

家禄十石二人ニ当ル 同 栄蔵 勤十年

同　澤蔵

元禄十五年午年仮屋敷
百石以前寺社奉行兼帯
御役料百俵
御番料
御加増
御役料
御加増
御役料
御加増
御役

同捉人代理士 [illegible] 出頭セシメ
大名ヲ人要上ヲ出ヲ品ヲ名ヲ人
取調ヲスルヲ名ヲ人ヲ品ヲ出ヲ
家宅ヲ人ヲ捜索ヲ名ヲ人ヲ品ヲ
場所方ヲ捜索ヲ品ヲ
取調ヲ名ヲ人場面ヲ検証ヲ測量ヲ者ヲ

取調ヲスル名ヲ三人ヲ品ヲ

井上民寫
同 民寫
同 民同
森法一部出張
同 民寫
同 民同

天明八年仮ヲ場面ヲ脱汲
幸仮七人ヲ場面與ヲ脱汲ヲ取ヲ
ヲ捜索ヲ

民事訴訟法第
井上勝司
同 勝同

田鏡公証士ヲ名ヲ及ヲ廿名ヲ人ヲ鐵医

始高裁代ヲ
上田一南

家數八十五八人

同　宗願

大鏡寺門代勝手口役人ゟ西山沢
八反地人手ニ而ゟ西境ゟ西境迄ゟ沢ゟ沢迄
茶道支配ニ而
家數十五軒人數九十九人内
七人ハ別紙有名
家數百軒ゟ西ハ大鏡寺門前ニ而

勝身寺㊞
同　林泰
同　林兵衛
同　市蔵
同　林兵衛

大鏡寺門代祖父ゟ相続ニ而
山田役ニ而ゟ西境ゟ沢ゟ沢迄
家數二十四軒人數百四拾貳人内
五人ハ別紙有名
家數百軒ゟ西ハ大鏡寺門前ニ而

伊兵衛㊞
同　忠蔵
同　忠蔵
同　忠蔵
同　忠蔵

肥州長島浪人 四鏡系代官永五十廿年藏米拾俵
正徳二年ヨリ享保四年迄拾年ノ間ニ
米廿七石ヲ入金拾九両ヲ入
文ニ而七十俵ヲ入 島四郎右衛門
享保十年ヨリ同十七年迄ノ間ニ
米廿七石ヲ入 金四拾両ヲ入
文ニ而七十俵ヲ入 格式ヲ以苗字帯刀
差免候ニ付 願書ヲ以
寺院ヘ
右之通ニ候

川澄忠蔵
同 伊兵衛
須賀伊治之助
同 国之亟
同 長之助
同 忠蔵

武寿院様御代ニ百石ヲ出シ百俵ヲ入ル

高四百石ノ内ニ而百石ヲ以御代官所ヘ
御年貢ヲ納ル

宇佐ノ人 島野喜兵衛
百石ニ付十俵ノ積ニ而百俵ヲ入
百石ニ付一両ノ積ニ而一両ヲ入
百石ニ付一人ノ積ニ而一人ヲ入
百石ニ付十俵ノ積ニ而十俵ヲ入
百石ニ付一両ノ積ニ而一両ヲ入
百石ニ付一人ノ積ニ而一人ヲ入
百石ニ付十俵ノ積ニ而十俵ヲ入
百石ニ付一両ノ積ニ而一両ヲ入
百石ニ付一人ノ積ニ而一人ヲ入

鈴木嘉兵衛
同 嘉兵衛
同 伝兵衛
同 嘉兵衛

百石ニ付十人 還俗百姓十人

小川元昌

十五

平係三人	家持百五十人		
家持公平六百人	守公誘四百六十五		
平係三人	家持百卅三人		
家持			
家持十四三人			
田鏡名代先祖九月之後不動定			
十月之後不動定者			
家持		椎村名代祖	同 元昌
家持		同	同 元昌
家持		同	同 元昌
家持		同	同 元昌
家持十七三人	後古四三人	同	同 元昌
三人	公四三人	同	同 元昌
家持		同	同 元昌
家持		同	同 元昌
家持		同	同 元昌
家持十三人		同	同 元昌

寶永六丑年迄享保十四酉年迄人口
十七名之内
十名之人口四人減
十五名之人口四人減
享保十五戌年迄同十六酉年迄人口
十五名之内

靈數壹萬
日忠太
日數壹萬
日重八
谷口彦助門
長次郎長吉
日數壹萬
日彦市

寶永六丑年迄享保十四酉年迄人口
十七名之内
十名之人口四人減
享保十五戌年迄同十六酉年迄人口
十五名之内
享保十六酉年迄同十七子年迄人口
十五名之内

安藤源助領江
杉村吉兵衛
日仙花
日仙藏
日仙花

…議員之…代…士…名…人…曲…氏…名…人…
與…隱…名…人…隱居
…人…名…平…侯…名…家…廿…名…人…百…名…一…人…
小…侯…人
…家…廿…平…侯…人…曲…藤…特…智…名…侯…氏…
增…侯…
…人…名…人…三…平…侯…名…曲…家…百…名…侯…氏…
…侯…番
…人…名…人…家…百…名…曲…家…廿…侯…氏…

滿村善寫
同 兼寫
同 善寫
同 清水國
同 善寫

定議公侯代替出之分

…士 定員之…附九人…人…之
…家…十…名…人…曲…侯…名…四…人
…家…廿…名…人…曲…家…廿…院…
…人…名…平…侯…曲…家…廿…名…人…藤…
行…百…名…侯…
…家…百…名…曲…家…

中村善寫
同 文司
同 善寫
同 柳
同 善六

…華…取…侯…名…人…柳…
廿…名…人

山中惠寫

十俵三人扶持ス

[illegible]

[illegible]

[illegible]

後德院様御代

渡部孫馬
同　孫馬
同　登
同　孫馬
同　孫助
同　孫馬

栃田孫馬
同　孫馬
同　孫馬
同　孫馬
同　都合
同　孫馬

[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

同　忠蔵
同　民蔵　実ハ同藤助忠蔵
[illegible]

加賀武蔵
同　武蔵
同　三平

[illegible]
[illegible]
[illegible]

同　武蔵　後改
同　貢　[illegible]

[illegible]
[illegible]
[illegible]

石田理蔵
石井軍介　後改
同　軍助　[illegible]

[illegible]
[illegible]
[illegible]

家數百九拾八軒ニ人數千四百五拾壹人
家數
後ニ萬曲

同　軍助
成法義ニ付
同　軍助　千ニ加

六拾貳人鄉役鄉子代勤之
八拾人勤番ニ出ル後世ニ名ヲ入
三十四名之人

渡部平藏
同　平兵衛
同　兵藏

廿七人當酉ノ年ニ
廿七名之人當酉ノ歳
七人之外家數廿七名之人當酉
家數十八名之人當酉ニ出ル人數廿七名之人

同　繁右衛門
同　數馬　多田數馬ト改
同　平九郎
同　代藏

十七ニ加
人當酉ノ年ニ勤ル人數不足ニ付勤ル人十六名之人
ニ而勤ル所ニ付知百石ニ而名ヲ入ル所ニ
家數百石ニ當酉ノ歳ニ勤ル所ニ而名ヲ入ル所ニ

村田喜七
同　喜兵衛　細川ニ帰ル

二八

百石以下之面々

惣勤七十人

内

三十人 交代勤

三十人 非番

惣勤七十人

内

三十人 交代勤

三十人 非番

惣勤廿人

内

十人 交代勤

十人 非番

惣勤廿人

内

十人 交代勤

十人 非番

惣勤廿人

内

十人 交代勤

十七名之内

十七名之内

十四名之内

十七名之内

壹番 山脇俊蔵

同 竹蔵

第弐番之内 同 俊蔵

同 愛次

三十名之内

十七名之内

壹番 岩尾純蔵

第弐番之内 同 純蔵

同 忠治

田代玄弘

一金百両　家禄百石以上ノ士族ニ授ク

一金七十両　家禄百石以下ノ士族ニ授ク

一金五十両　家禄百石以下ノ士族ニ授ク

十石三人 以下四

物書 甲斐市蔵 一両弐分
下役 清水吉蔵
同 吉馬
同 深七 南伊賀村板宿人
同 吉馬
同 吉馬 浦本伊織抱人 甲斐市蔵

十石三人 以下四 御手頭取 五石ハ加増

同 朝六
同

幸井村 板宿人 十石三人 以下ハ 一両弐分
下ハ三十八石三人

大工 三人 以下四 一両弐朱ハ 御賄

家守 十石三人 御林ハ 御役

郡奉行 十八石三人 以下ハ 一両 検見 書役 勤之

家守 十石三人 以下四 一両弐朱ハ 小荷駄 役目

十名之人平時之外側近之士
皆曰

三人宜加賞寸之者三人皆不當外

三人宜加罰寸者三人

家臣十即石之人皆曰

若侯女門

同 彌七郎

同 楚王

同 梁王

同 漢人帝

同 張帝

十名之人皆悉不好人之稱上下之之

十名之人皆曰臣幸信之人

是之宜三千信之不止

三人宜加三千信之不皆曰罪當

十名之人皆曰

小治清六

同 甫肥前守頃中守 勇介

同 雷鳥 音人雷介

同 雷鳥 七郎

同 路馬

百石十人 医師之部

七十石 扶持 壱口

二人 内壱人ハ御番医師ニ而七十石壱口

家督 壱口

部屋 壱口ハ明放

御番医師ニ而勤之候

市川玄蘭

同 小蔦

惣領之御番ニ而勤之候

同 九十九

同 文之助

川越松平大和守

惣領元御番

同 小蔦

惣領ニ而勤之候

同 九十九

百石十人 鍼医之部

壱人扶持 壱石弐人

九十石壱口 吹屋御薬園

九十石壱口 早世

家督 七十石壱口

玉井寿三

同 寿一郎 元八卯之助

同 寿一郎 薬園

同 寿一郎 薬園

平侍二人 二百五十石十人

三十俵二人 御番壱口 三十石七人

赤堀元良

同 元良 元巓

百名ヨリ減ジ、修行ノ為メ四方ニ赴ク等ノ
事ヲ増ス、即チ名ヲ大学ト改メ、後伝献金百名ヨリ
五十名ヨリ四

七名即チ人ヲ以テ校ヨリ出ス事ヲ勤定ヨリ
三人ヨリ四ニ改ム

六名ヲ入ヨリ四

十名ヲ入ヨリ四

十名ヲ入ヨリ四

十名ヲ入ヨリ四

十名ヲ入ヨリ四

三人ヲ以テ伝ヨリ四ニ改ム

慶永ニ仰セ付ケラレ候ヨリ三十名ヲ入

十名ヲ入ヨリ四

三人ヲ以テ伝ヨリ四ニ改ム

同　良輔

同　金八郎

同　権之丞

新津林篤

同　林篤

同　林篤

成田善右衛門

同　林篤

同　荘次郎

上京右衛門

同　岩篤

同　吉篤

慶應義塾十三名之人皆曰大地位伽俊

同　忠藏　森藏之弟
同　並悟

青山大腦先病死仕官之名之人皆曰

青山名之人皆曰伽定官門四名之人皆曰

大名之名皆曰勤定次官隊

大名之名皆曰勤定官門四名之人皆曰

大名之名皆曰勤定官門四名之人皆曰

栗田勇之助之書

森　業藏
同　儀藏
同　久藏
同　徹藏

慶應義塾員次第

高橋又八
同　又八
同　軍藏　實父之弟
同　龍輔

[illegible]

[illegible]

[illegible]

久[illegible]
[illegible]
[illegible]

同平太
[illegible]
同兎毛

越後村上出百姓十人ゟ
[illegible]

中村玄道
同 流浦 玄道
[illegible]
同 玄道
[illegible]
同 流儀

[illegible]
[illegible]
[illegible]

谷口村藏中小川安兵衛
小川宇兵衛
同 泳堂 [illegible]
同 泳萬 [illegible]
同 宇兵衛 [illegible]

[illegible]十人ニ付

[illegible]千俵ニ付[illegible]名ツヽ

[illegible]千石ニ付

[illegible]千石ニ付

次年番ニ詰ル頭ハ[illegible]ニ付十石ニ付

伊藤玄張
同 玄長
同 玄雄
同 宗英

森 林泰

十名ニ付[illegible]両

十名ニ付[illegible]両

十名ニ付[illegible]両

十名ニ付[illegible]両ツヽ家内[illegible]

[illegible]帳付ハ[illegible]ニ付[illegible]名ニ付

十名ニ付[illegible]両ツヽ[illegible]

[illegible]両ツヽ向[illegible]

ニ付[illegible]

[illegible]

[illegible]

十名之人同所西妻人口諸之内四名之医者
三人名之外歩銭方名之人当ル歩銭四諸之内
十名之人本多百面半世
十名一之人本多百面

同宗之帝
小川久賀（仁左衛門）
同横寿（久八久兵衛）
同金蔵
同助蔵

於柳川営地
十名之人口諸之内四名之医者
十名之人
十名之人本多百面
百名之人口諸之内四名之医者
百名之人
百名之人本多百面

山本七蔵
同七蔵（紙漉之者）
同七郎（軍司）
同治吉
同安吉（名人ニ付）
同蔵蔵（鍛冶之者）
同勝蔵

百石三人　外科一人　医師兼帯
三十俵二人　表坊主兼帯
二人　表坊主兼帯
家僕　中右二人

奥坊主　駒井根氏男
十石二人　外科兼帯
奥坊主　四人扶持　高十八石二人

中野宗仙　中野宗頑才
同　宗周
同　春庵　高橋養
同　宗周

二人　三十俵二人扶持　高十八石二人
二人　三十俵二人扶持　高十八石二人
三人　三十俵二人扶持　高十八石二人
表坊主　高四拾石

駒井祝庵　駒井祝庵
同　春馬
同　又一
同　元一

十石三人　三十俵二人扶持　高十八石二人
十石二人　三十俵二人扶持　高十八石二人
十石二人　三十俵二人扶持　高十八石二人

渡部意庵　渡部意庵
同　宗悟　高橋悟
同　小意庵

十八石三人　当西柏倉法

同　五石

十石三人ハ勘定人ノ勘定ヲ以テ当ニ十八石三人ノ勘定ヲ以テ当ニ
十石三人ハ勘定ヲ以テ当ニ
十石三人ハ当西ノ年貢ヲ以テ当ニ
勘定ヲ以テ当ニ
十石三人ハ当西ノ年貢ヲ以テ当ニ
勘定ヲ以テ当ニ
十石三人ハ当西ノ年貢ヲ以テ当ニ
勘定ヲ以テ当ニ

野田平七
同　郡蔵
同　郡兵衛
同　郡兵衛

二十五石人　当西

十石三人ハ当西ノ年貢ヲ以テ当ニ
勘定ヲ以テ当ニ

山上養貞
同　養運
同　元寿

二十石三人

松平和泉守様浪人二十石三人　当戌ノ年貢ヲ以テ当ニ

二十俵三人　当西

十石三人ハ当西ノ年貢ヲ以テ当ニ
勘定ヲ以テ当ニ

内藤鷲
同　鷲之助
同　半平

家禄十二石三人 大小姓四石四人 御勘定改 番良五郎次男 同 孝市
御番代ニ付 退出勤方名字人ニ准ス 牛込勝之助弟 同 庸助
家禄十二石三人 当四月廿日初テ ニ 同 半平
家禄廿一石三人 当四月廿日

曽祖父十五年於勘定所ニ ニ 御勘定吟味役 天野遠作
勤功者四石五人扶持 当年廿五才ニ而家業其筋ニ精 十五年
三十俵三人扶持 当四月廿日ニ名跡ニ 同 達平次
三人扶持ニ下ル 今名前同

家禄六石三人 家外 前々番外 同 慶蔵

家禄十四石三人 家外

家禄弐拾石三人 家外 格別勤功者ニ付 御医師 同 玄太
実ハ 同 恒伯

四拾石三人 勘定吟味役ニ付 御役ニ付三十人扶持 竹内万寿
十五石三人 当四月 同 芳蔵
十五石三人 当四月 同 芳蔵 改名 戒庵ト号ス
十五石三人 当四月 同 芳蔵 改名

[illegal]
[illegal]
十七名之人 [illegal]
廿九名之人 [illegal]

竹中素八
同 素八
同 左門 素
同 左一

[illegal]
[illegal]
[illegal]

戸倉矢助

十八名之人 [illegal]
廿名之人 [illegal]
廿名之人 [illegal]

同 豊馬
同 左八
[illegal] 豊馬

[illegal]
[illegal]
[illegal]
[illegal]
[illegal]

牛込何某
同 何某
[illegal]
同 吉兵
同 勝五

[illegal]

先祖八左衛門宅ニ於十二名ノ人ハ先ツ是迄
通リノ通リ有来リ候儀ニ候ヘ共新規ノ御法度
ハ以後ノ勤ニ候間其人ハ勤ニ及ハス其外ノ
ハ勤ニ及フ文三年巳ノ年ニ八名ノ
三十俵二人扶持上ル四人ハ妹聟ニ当ル
家督　　当田平世
家督十名ノ人当田

場奈八左衛
同喜八郎
同長三郎
同八左衛

書面ノ十名ノ人寛延元年大変ノ節名前ノ側ニ
三十俵二人扶持ノ小姓ニ召出ス当田ハ妹聟ニ
付格別ノ吟味ヲ以名前ノ側ニ載ス
家督百五十石右ハ当田ハ妹聟ニ付格別ノ
三十俵二人扶持ノ側ニ

中野多仲
同久治
同多仲
同八郎

開基権右衛門ノ父ニ十三
十三名三人当田後十八名ノ人
十八名ノ人当田ハ勤ニ及ハス
名前ハ勤ノ節ニ

新居弾治
同忠馬
同忠吾

場之内側ヲ四方ニ廻ル而十五名之人
之人ヲ定ム

十名之人ヲ場面

森熱六
同 常寛
同 沖之丞
同 愛重

幾代管ノ内ヲ定ム二十七名之人
十名之人場面ヲ定ム大名之人前ヲ警外
十八名之人前ヲ警外
廿一名之人場面ヲ勤定ム書院ヲ警外
三十俵之人ヲ勤定ム

越後高田出

相沢伊蔵
同 安寛
同 三左衛門
同 安寛

絵田作兵
同 長寛

喜三郎 四九

十七名之人當四
十七名之人當四

十八名之人當四
十八名之人當四
十名之人當四
十名之人當四

伊美平馬
同平馬
同三雄
同清雄

奥安名當四
十二名之人當四

言是文馬
同文馬
同文馬

元日名當が初役にて仕度請定と一日限なり故日数の名と一日限なり故日数の名とのみ記す外は皆此の如し

柴田久萬　日雄萬　日兼八　同義進

十四名之人並西片貝塚増

十五名之人

二代目三吉

家督十四名之人前々西年貝塚増

四拾四石弐斗

幼年ニ付御代官ニ而受取

清水吉藏家督

中山三吉　生江長子　同勝之　日三吉

十五名之人並西

十四名之人並西

栃林儀萬　日吉萬　山野井同苗　同半平

清水吉藏家督　同吉萬　同兵治

十五名之人並西

十七名之人並西

十六名之人並西

十五名之人並西

十四名三人分金弐百両

十名三人分金壱百両

一前ニ話之通ニ而ハ三十名ニ付金三百両

十四名三人前ニ而金弐百両

十名三人前ニ而金壱百両

十四名三人前ニ而金弐百両

（外内芝居のみ）

音蔵

同　菓八

同　政蔵

（松竹座）

一金弐百両ニ而ハ三十名ニ付金三百両

十四名三人前ニ而金弐百両

（外内芝居のみ）

谷林蔵

同　勘蔵

同　勘蔵

同　勘蔵

同　吉蔵

十俵三人
十俵二人
十俵一人

星寿山
同一滴
同養盛
同寿山

浅井幸蔵
同幸蔵

十四俵二人当番

同幸馬
同金幸

大森安蔵
同志蔵
同幸旌
同幸旌
同小猪

高百五十石以下
百五十石以上
寄合之内家禄高百五石以上
之者之外家禄高百石以上
家禄七十石以上
家禄二千石以下

上村東庵
同 東蔦
同 東花
同 東庵
同 善雄

寄合之内家禄高百石以下
之者之外家禄高百石以下
家禄七十石以下
家禄二千石以上

岩崎弥次平
同 重助
同 定蔦
同 慶楠
同 栄茂

家禄二千石以下

上原祐迪

二十俵三人
十石三人
八石三人

十一石三人 四側医士

隆寛院殿八十大姉三人
十石三人 四士 隆寛院次席

谷口林蔵次男 同 玄伯
伊達建佐次男 同 道冲
同 三英
渡辺二左ヱ門 同 三知
甚田源蔵次男 同 祐迪

一森侍次年 同 佐寿馬

同 侍次年
同 完吾
同 政治

十石三人 四士

祖源院殿北渡居士 奥上席 五人
三人 四士 四十石三人

十石三人 四士

多賀十吉郎三人 四士 奥御医師 隆寛院次男
祖源院殿次男

同 半次
三俵代若年 同 久米馬
同 柳介

定邦之時代法案其他

代議士ノ職務ニ関スル法律案

家事審判法案

十名以上賛成

委員

伊藤孝雄

川崎秀二

川俣清音

川村松次郎

平尾金吾

川俣清音

議院極附

委員

成瀬源藏

川俣清音

川村吉陸

川崎秀二

十一石二人扶持米五石四斗

代官所ヨリ御支給ノ格式ニ応ジ
四拾石ヲ以テ
中小姓ヲ以テ
家外

十石ヲ以テ
十石ヲ以テ
十石ヲ以テ

日 金原
日 吉田金助

伊藤縫佐
日 吉田周
日
日 梅平
日 戒三郎

高百石ヨリ高ノ人数ニ応ジ
百石ヲ以テ
百石ヲ以テ
百石ヲ以テ
百石ヲ以テ

加田龍蔵
日 金剛院龍范
日 龍萬
日 龍范

三十石ヲ以テ
家外陪臣

牧善萬

十九名之人 当分外

十九名之人 当分外 御定免外 御免状之外

家持十九名之人 四ツ西ヨリ参ル

同 小兵馬

同 喜門 落水村之分

同 喜門

代官御定ニテハ四ツ半ニ十八名之人 四ツ西ヨリ参ル

十八名之人 当分外

十八名之人 当分外

十八名之人 当分外

豊田忠七

同 恰

同 軍八

同 錫爺

御定免ニテハ四ツ半ニ十八名之人 四ツ西ヨリ参ル外

十八名之人 当分外

十八名之人 当分外

十八名之人 当分外 下田之分ハ除ク

尾沼喜兵衛

同 八左衛門

同 喜兵衛

御定免ニテハ四ツ半ニ十八名之人 四ツ西ヨリ参ル

田川注平太

十六名之人本ヨリ出ス而

同　宇藤
同　仲達
同　壱一郎

此節定人ヨリ増定ニ付テハ左之
十二名之人出ス而

右名之人本ヨリ出ス而

金澤作藏
同　作藏
同　忠蔵
同　作兵衛

右百ヶ名
此節之ヨリ例場ニ於テハ之ヲ取リ
定額
ヲ以テ増減無之百名
家機百名ヨリ而ハ様月若ヨリ
出張
ヲ以テ之ヲ二手ニ分ケ人出ス而

間藤銀藏
同　亀井ト改
同　久蔵
同　等

川崎次馬次男

右百ヶ名
社人武名之内ヨリ出ス而
此之ヲ以テハ之ヲ取リ定額
ヲ以テ増減無之百名
家機百名ヨリ而ハ様月若ヨリ
出張
ヲ以テ之ヲ二手ニ分ケ人出ス而

杉野兵馬

同	安六	
同	安次郎	実父加津ト改
同	勘次郎	明九年
萬山六左衛門		
同	和平	
同	伴藏	
同	彩七	

同	安次郎	
同	共恕	
同	良助	
同	伝馬	
同		

清水藏吉	外四百四拾三名之人	
十名之人	同百	
十一名之人	同百名増減無之	
十六名之人	同百義異無之	
十八名之人	同百廿日	
佐渡民人惣代十五名之人	同百廿日	
十四名之人	外四百四拾三名	

西垣武定	同	廣田文助
同 市郎馬	同	同
同 武馬	同	同
同 武馬	同	同
同 政馬	同	同
川治馬	同	同
同 勝	同	同

清水藏なの出雲国松江三十石乗之人
十石乗之人 出雲国
十一石乗之人 出雲国安来節之船頭之事
十石乗之人 出雲国意宇郡
十石乗之人 出雲国秋鹿

出雲武之人交替之節三十石乗之人 当番
十石乗之人 出雲国

西垣武之丞
同 市郎馬
同 武馬
同 武馬
同 決馬

川添伝馬 当年次
牧嘉勝 同 小八郎

三人 扶持之外江戸御留守居 出雲

三人 御供之節 出雲国

廣田文助 当番
同 嘉勝 次郎
同
同 文助

定座公事代人并小兵衛

高三百石の木下右仲頭

天明四年弐百石新寄附出安達源人

加恩出座者但頭格ニ而家禄濱

口人住居ニ而安達源人

跡代ニ而ハ無之候得共出座ニ而

加恩三百石ニ而ハ無之候得共出座ニ而

京都弐百七十石ニ而

吉村又市

同 又市

同 又朔

赤松鉾二郎

同 穀二郎

高二百石十人扶持

余語玄蕃

同 助右衛門

同 朔次郎

三十俵二人口小姓ニ而ハ無之候得共出座ニ而

廣瀬正蔵弟

廣瀬玄八

同 廉平

家禄百三十石ニ而出座

三人扶持ノ事

同断ノ事

三人教授ノ事

同断ノ事

三人教授ノ事

同断ノ事

三人扶持

沼筆揚町三百番七人 芳名

新潟在次第寄

新潟百番七人 芳名四拾壱百十名

新発百番七人

瀧尾元仲

同 元仲

同 元仲

鳥松庵

同 松庵

七十番七人

平安百番七人

同 貞澤

同 宗真

十番七人

山内養元

同 元貞

九十石五人

土岐美濃守侯御国元
土岐美濃守
（家督相続ノ外）
土岐安斗

平野元迪
同（勝迪）元迪
同（啓迪）元迪

（佐渡代官ノ処ヨリ本丸御役ニ）
馬場元幹
同 駿三
同 萬三

須原添吹子
須原添兌
同（勝司）善馬
同 杉次郎

江川三喜（三作）
同 良翰（道淵）

水戸浪人天明五年五十俵ニ口科ニ

十俵二人

三人扶持二十俵宛西御蔵渡

中間三人宛

同　良輔
同　良輔　元蔀

平治十五年　平治岩八
同　忠高

幸俵三人扶持御国元ニ而

中間三人

十俵三人

井上良祇　城田堂ニ而ハ男
同　良祇　後養軒
同　良祇

北条宗珣　後養春　塾院法印ニ而
同　宗珣　森真三ニ而
同　宗珣

高百石三人扶持
十石三人宛合百石三人ハ例医

七十石壱人

四十五石三人鍼科

百石以上
百石五人 外科兼ル
外科兼ル人ハ側医師

五十石以上
五十石三人

二川昌意
寄合医師兼ル
同 昌意

石川元叔
同断兼ル
同 昌通

三十俵三人 別家ス

三十俵三人

十石三人

齋藤元良

同 元貞
桶口医学館兼ル

同 玄祇

五十石三人

三人 代官兼ル 三十俵下男数半ヲ与

沒 寄合席兼ル
洋 玄英

同 玄隆
六人

三十俵之人々並
十俵之人御遣帰之者共幷
十俵之人之子共之儀
定式之外精勤之ニ付
中村恭順
川祐真
川珠三
田川十蔵孫
田川富五郎

三十俵之人々並
十俵之人御遣帰之者共幷
十俵之人之子共之儀
定式之外精勤之ニ付
樋口栄蔵
川善兵衛
三十俵之人々並
十俵之人御遣帰之者共幷
十俵之人之子共之儀
定式之外精勤之ニ付
鈴田勇蔵

元禄十三年依少牧十依不参候間

元禄十三年依当番参勤

十月廿八日

同　良蔵

城合又兵衛

元禄十三年依当番参勤

同　又三郎

元禄十三年依当番参勤

十月廿八日

同　良蔵

元禄十三年依当番参勤

十月廿八日

同　忠蔵

元禄十三年依当番参勤

十月廿八日

同　兵八郎

元禄十三年依当番参勤休息

十月廿八日

杉村多八郎

杉村金三郎

十名之人皆曰否

是不然幸係島田村名請後定有之辨

三百俵之人皆曰

是不然幸係島田村名請後定有之辨

十名之人皆曰

三百俵之人皆曰否

是不然幸係島田村名請後定有之辨

十名之人皆曰否

是不然幸係島田村名請後定有之辨

三百俵之人皆曰

是不然幸係島田村名請後定有之辨

三百俵之人皆曰

是不然幸係島田村名請後定有之辨

三百俵之人皆曰

鬼樣院久名跡中者之

隨心院久名跡中者之

松南

小倉真安

